



平成 29 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社メガネスーパー
代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦
(J A S D A Q ・ コード 3 3 1 8)
問合せ先
役職・氏名 取締役執行役員 CFO 三井 規彰
電 話 0 4 6 5 - 2 4 - 3 6 1 1 (代表)

連結決算開始に伴う連結業績予想の公表及び

特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月期第 3 四半期より、連結決算に移行いたしましたので、平成 29 年 4 月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 29 年 4 月期第 3 四半期において、負ののれん発生益 60 百万円の特別利益を計上することとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始に伴う連結業績予想の公表について

(1) 連結決算開始について

当社は、平成 29 年 1 月 31 日公表の「(経過報告) 子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、同日付けで目の健康株式会社（以下「目の健康社」といいます。）及び株式会社メガネハウス（以下「メガネハウス社」といいます。）を子会社化いたしました。これに伴い、平成 29 年 4 月期第 3 四半期より、同社を子会社とする連結決算を開始するとともに、あらたに連結業績予想を公表いたします。

なお、目の健康社は平成 29 年 4 月期第 3 四半期連結会計期間より、メガネハウス社については貸借対照表を平成 29 年 4 月期第 3 四半期連結会計期間より、損益計算書は平成 29 年 4 月期第 4 四半期連結会計期間から当社連結決算の対象となります。

(2) 平成 29 年 4 月期 連結業績予想（平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|----|---------------|------------|------------|---------------------|-----------------|
| 通期 | 百万円 18,000 | 百万円 400 | 百万円 300 | 百万円 1 | △ 0 円 89 銭 |

※平成 28 年 4 月期は連結決算を行っておりませんので、対前年増減比は記載しておりません。

(3) 連結業績予想の概要

上記の連結業績予想は、当社の最近の業績の動向、並びに平成 29 年 4 月期第 3 四半期連結期間より当社連結子会社となる目の健康社及びメガネハウス社の業績を織り込んだ数値となります。

また、当社は当第 3 四半期より連結決算に移行しますが、目の健康社及びメガネハウス社の当期における業績への影響は軽微であり、個別および連結業績は同水準を見込んでいるため、今後の個別業績予想の数値は非開示といたします。

なお、当社は平成 28 年 6 月 14 日に公表した「平成 28 年 4 月期決算短信」において、当期の個別業績予想を、売上高 18,000 百万円、営業利益 800 百万円、経常利益 700 百万円、当期純利益 400 百万円

としておりますが、本日公表の「平成 29 年 4 月期第 3 四半期決算短信」のとおり、当第 3 四半期までの進捗は、売上高 13,042 百万円、営業利益 159 百万円、経常利益 95 百万円、四半期純損失 44 百万円となっております。売上高については、コンタクトレンズの販売や通販事業が好調に推移した結果、前期比 11.4%増となる一方、売上高構成比の変化により売上総利益率が当初想定を下回ったことに加えて、平成 21 年 4 月期以来 8 期ぶりとなる従業員への賞与支給、メガネハウス社の全株式取得にかかる M&A 費用、新店および既存店活性化にかかる投資等が先行したことにより、利益面は当初想定を下回る水準となっております。

そこで、当期における連結業績予想は、最近の業績の動向として、最繁忙期となる第 4 四半期の見通しとして、年末年始の商戦、および新生活準備に向けた需要期である 3 月、4 月の谷間である 2 月は、例年季節変動による影響を受ける月であるところ、これまでの当社「アイケア」施策の浸透による客数増効果により、既存店の売上高前年対比が 107.3%となったこと、最繁忙月となる 3 月に入って以降も 2 月以上の好調さを維持していること、「アイケア」施策の強化による収益力改善効果を見込んだ数値としております。

その結果、当期における連結売上高 18,000 百万円、営業利益 400 百万円、経常利益 300 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 1 百万円としております。

2. 特別利益の計上について

平成 29 年 1 月 31 日公表の「(経過報告) 子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、当社が全株式を保有する目の健康社と共同でメガネハウス社の全株式を取得いたしました。これに伴い、目の健康社並びにメガネハウス社が当社の連結子会社となり、これに伴う会計処理として、連結財務諸表上、平成 29 年 4 月期第 3 四半期において、負ののれん発生益 60 百万円を計上いたします。

※業績予想に関する留意事項、その他特記事項

1. 上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社グループが入手可能な情報及び合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
2. 平成 29 年 4 月期第 3 四半期決算については、本日公表の「平成 29 年 4 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上